



松木島八幡社

せんぐう かぜ 遷宮の風だより 第2報

発行元

松木島八幡社第19回式年遷宮委員会

令和4年11月1日

今回の遷宮だよりは、松木島八幡社榎山宮司のあいさつ。また、今後は、第19回式年遷宮に備え神社の修理箇所や交換備品などについて、そして、松木島八幡社で行われる各種の「祭り」や「境内の施設」などについて順次紹介していきます。

榎山宮司あいさつ



この度、父、服部弘宮司の後任として、令和2年8月1日付けをもちまして、神社本庁より松木島八幡社の宮司を拝命しました、榎山佐和子(すぎやま さわこ)と申します。

63年間の長きに亘り、神職としてご奉仕してまいりました服部前宮司の思いを引き継ぎ、氏子の皆様方の幸せとご神威の発揚、地域の活性化に精一杯尽くす所存でございます。

祖父の代より式年遷宮に携わらせていただき、身の引き締まる思いでございます。ご先祖様より脈々と守り継がれております松木島の伝統文化を絶やさぬよう、後世に繋げてゆくことが肝要でございます。今後とも皆様のご指導、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

修理箇所その1 土塀

土塀は、本殿を取り囲むように境内の西面から北面に掛けて築かれていました。長年の風雨に耐えてきましたが痛みが激しく、倒壊の危険性がありましたので、今回の遷宮に合わせて取り壊されました。令和5年4月から工事に入る予定です。



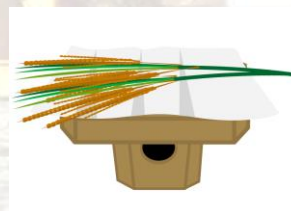
取り壊し前



取り壊し後

松木島八幡社 ひとくちメモ その1 にいなめさい 松木島八幡社の“新嘗祭”

松木島八幡社では、11月23日に“新嘗祭”が行われます。「新」は新穀を、「嘗」はお召し上がりいただくことを意味し、収穫された新穀を神に奉り、その恵みに感謝し、国家安泰、国民の繁栄をお祈りすることを目的とした大祭です。また、併せて子ども会による浦安の舞が奉納される予定です。



今回のすかし

… 鳥居に掲げられた“八幡宮”の扁額

※ 扁額とは、神社や寺院などで用いられる表札のことです